



新日本语能力考试助考系列

总主编◎吴 侃

紧扣新考纲，完全新题型
名师编写，助你冲刺



N1

新日本语能力考试 考前模拟

主 编◎李晓梅 李宇玲 李 丽 张 颖



(含MP3光盘)



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

新日本语能力考试助考系列

总主编 吴 侃

新日本语能力考试

N1 考前模拟

(含 MP3 光盘)

主编 李晓梅 李宇玲 李 丽 张 颖



上海交通大学出版社
SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY PRESS

内 容 提 要

本书为新日本语能力考试助考系列中的 N1 级模拟题,全书由工作在日语教学第一线的教师根据新的考纲和题型编写。全书题量大,共有 8 套模拟题,附录中提供答案和题目解析,内容详尽实用。

图书在版编目(CIP)数据

新日本语能力考试 N1 考前模拟/李晓梅等主编. —上海:
上海交通大学出版社,2013

(新日本语能力考试助考系列)

ISBN 978-7-313-09688-3

I. ①新… II. ①李… III. ①日语-水平考试-题解
IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2013)第 095279 号

新日本语能力考试 N1 考前模拟

李晓梅 李宇玲 李 丽 张 颖 主编

上海交通大学出版社出版发行

上海市番禺路 951 号 邮政编码 200030

电话: 64071208 出版人: 韩建民

昆山市亭林印刷有限责任公司印刷 全国新华书店经销

开本: 787mm×1092mm 1/16 印张: 16 字数: 381 千字

2013 年 9 月第 1 版 2013 年 9 月第 1 次印刷

印数: 1~3030

ISBN 978-7-313-09688-3/H 定价: 38.00 元

ISBN 978-7-88844-776-9 (含 MP3)

版权所有 侵权必究

告读者: 如发现本书有印装质量问题请与印刷厂质量科联系
联系电话: 0512-57751097

本书编委会

总 主 编 吴 侃

主 编 李晓梅(文字词汇)

李宇玲(语法)

李 丽(读解)

张 颖(听解)

编 者 孙静霞 姜慧英 刘 勤

沈彩虹 练 琼 李宇玲

牟海涛 胡 伟 刘 博

张 颖 杨晓敏 罗齐慧

前 言

日语能力考试于 1984 后开始举行,迄今已有 28 年的历史。从 2010 年开始,日语能力考试出现了很大变革。为与过去的的能力考试进行区分,2010 年之后的考试被称为“新”能力考试,用“N”来标示。比较新旧能力考试,其显著变化主要有以下几点:

第一,级别由原来的四级变成五级,即 N1、N2、N3、N4 和 N5。由于旧能力考试 2、3 级之间难度跨度过大,知识衔接不太合理,所以在“新”能力考试中增加了 N3,这相当于旧能力考试中 2、3 级之间的过渡级别。

第二,更加注重考查学习者的语言综合运用能力。根据日本国际交流基金网站公布的考试纲要可以看出,在“新”能力考试中,文字词汇和语法等纯粹记忆性的题目数量有所减少,而考查语言综合应用能力的阅读和听解则相应增多。

第三,合格认定标准的变化。由于更加注重学习者的语言综合运用能力,所以“新”能力考试的合格认定方式由原来的只看总分改为总分和各部分分数都必须合格。

第四,考试次数(N1、N2、N3)由原来每年一次增加到两次(7 月和 12 月)。

由于“新”能力考试相应减少了文字、词汇和语法部分的比重而大大增加了听解的比重,所以中国学习者就很难再凭借原来的汉字优势来通过考试,而必须通过全面提高日语综合运用能力来通过考试。

为帮助中国学习者积极应对“新”能力考试中的重大变化,更加快捷有效地提高考试成绩,本书编写人员以“新”考试纲要为指南,在综合对比研究历年试题的基础上,根据多年积淀的教学经验和对日语语言的深刻理解及认识编写了本套丛书。本丛书编写人员从事日语教学多年,一直活跃在日语教学第一线,教学经验丰富。希望本书能够对各位考生有所帮助。

目 录

模擬テスト1

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	1
聴解	20

模擬テスト2

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	24
聴解	42

模擬テスト3

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	45
聴解	61

模擬テスト4

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	65
聴解	83

模擬テスト5

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	86
聴解	102

模擬テスト6

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	105
聴解	123

模擬テスト7

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	126
聴解	143

模擬テスト8

言語知識(文字・語彙・文法)・読解	146
聴解	162

答案及解析	166
-------------	-----

录音原文	187
------------	-----

模擬テスト1

言語知識(文字・語彙・文法)・読解

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 1 自然を侮ると痛い目に遭う。
1 あなどる 2 あどなる 3 あたなる 4 あたどる
- 2 串に刺した鶏肉を炭火で炙って食べる。
1 つちかって 2 あぶって 3 つかって 4 あぶなって
- 3 試合の前には、今までの失敗を思い出して自分を戒める。
1 いけめる 2 いためる 3 さけめる 4 いましめる
- 4 痛む腹を押さえてその場に蹲った。
1 いずくまった 2 いすくまった 3 うずくまった 4 うすくまった
- 5 祖母は穏やかに微笑みながら孫の遊ぶ姿を見守っている。
1 しとやか 2 なごやか 3 おだやか 4 おんやか
- 6 口では勇ましいことを言っていながら、いざ実行となると、しり込みしてしまう。
1 ゆさましい 2 おさましい 3 あつかましい 4 いさましい

問題2 ()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 7 今回の大型プロジェクトを伊藤商社が独占で()らしい。
1 請け負う 2 和える 3 憂える 4 挑む
- 8 皮肉も冗談として()、気にしないことにしている。
1 受け付け 2 受け継ぎ 3 受け渡し 4 受け止め
- 9 同僚に対して、どうしようもなく()ことがある。
1 苛立つ 2 生ける 3 営む 4 侮る
- 10 みんなに旅行の希望を聞いたら、行き先が()でまとまらなかった。
1 いまいち 2 まちまち 3 いちいち 4 それぞれ

- 11 最近、控えめで()な日本女性が少なくなったと言われている。
- 1 婉曲 2 なごやか 3 あざやか 4 しとやか
- 12 3人掛けのソファに5人も座っているので()でたまらない。
- 1 窮屈 2 苦痛 3 気まぐれ 4 退屈
- 13 日本滞在中、観光の()にお越し下さいと、日本人の友だちから誘いがあった。
- 1 暇 2 合間 3 絶え間 4 時間

問題3 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 14 これから、事前に打ち合わせたとおり式を進める。
- 1 打ち明けた 2 話し合った 3 受け継いだ 4 促した
- 15 申込書は来週の水曜日まで受け付ける。
- 1 受け継ぐ 2 受理する
3 受け渡す 4 引き付ける
- 16 テレビを見ながらの食事なんて、もってのほかだ。
- 1 無作法だ 2 とんでもない
3 健康によくない 4 面倒だ
- 17 このあたりは人家がまばらで夜は寂しい。
- 1 少なくて 2 静かで 3 整然として 4 雑然として
- 18 会社は不況の荒波をもろにかぶって倒産した。
- 1 意外に 2 一斉に 3 しかたなく 4 直接に
- 19 最近、環境問題に人々の関心が集まっている。
- 1 注目 2 興味 3 好奇心 4 見込み

問題4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 20 生ける
- 1 一度きりの人生を幸せに生ける。
- 2 21世紀に生ける子供たちへ向けて文章を書く。
- 3 花を生けることで、人と植物のつながりを学ぶ。
- 4 素材のよさを生けて、自然食品を作る。

21 打ち込む

- 1 就職活動で電話にて面接日時を打ち込んだ。
- 2 その夢に向け、がむしゃらに仕事に打ち込んだ。
- 3 何の説明もなく救出を打ち込むなんて許せない。
- 4 つい仲良しにそのことを打ち込んだ。

22 和える

- 1 軽い体操をして開演前のプレッシャーを和える。
- 2 冗談を言って雰囲気を和える。
- 3 話し合いでやっと相手側は対決の姿勢を和えた。
- 4 玉ネギをゴマ油と塩で和える。

23 甘える

- 1 一人娘を甘えて育てた。
- 2 子供だからといって甘えてはいけない。
- 3 親に甘えて、高いパソコンを買ってもらった。
- 4 いつも人を甘えたい気持ちを抑える。

24 てっきり

- 1 正しい行動をとるにあたっては、常に事実をてっきり把握することが大切だ。
- 2 あの人はてっきりしているから、危険な投資はしないだろう。
- 3 英会話教室に通ったおかげで、てっきり上達した。
- 4 最近音沙汰がないので、てっきりこの世にはいないと思っていた。

25 振り返る

- 1 後ろを振り返ると夕日が美しく空を染めていた。
- 2 宝くじに当たるとは私にも運が振り返ってきたようだ。
- 3 友達は、私が帰るといふのを、しきりに振り返ろうとした。
- 4 雨が降り出したため、やむなく途中から振り返った。

問題5 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26 燃料価格の高騰()、複数の航空会社が運賃を値上げした。

- 1 を受けて 2 に沿って 3 にわたって 4 を通じる

(2011年12月 N1真题)

27 その人の言う()、2011年8月に大きな地震が起きるらしい。

- 1 ことから 2 こととて 3 ことには 4 ことは

- 28 持ち前の明るい性格と人一倍の責任感が()、彼はリーダーとしてみんなから慕われている。
- 1 きわまって 2 あまって 3 あいまって 4 かさなって
- 29 あのアイドルはダイエットのしすぎで倒れてしまい、入院する()。
- 1 しまつだ 2 すえだ 3 いたりだ 4 じまいだ
- 30 A 会社の元社員が11日、突然の解雇を不当()、解雇取り消しを同社に求め、訴えを起こした。
- 1 となって 2 になって 3 として 4 にして
- (2011年7月 N1真題)
- 31 お留守中に、佐藤さんという方が()。
- 1 お見えになりました 2 参られていらっしゃいました
3 お越しいただきました 4 おいでいただきました
- 32 この国の政治を任されている政治家や官僚たちに「国民()国家だ」という認識を常に持っていてほしい。
- 1 あっても 2 あつての 3 あったら 4 あれば
- 33 彼にはもう何回もだまされた。もう二度と彼のいうことなんか()。
- 1 だまされたものか 2 だまされないものか
3 信じるものか 4 信じないものか
- 34 政治家の汚職を見るにつけ()。
- 1 腹をたてるまでだ 2 許してやまない
3 見るにたえない 4 怒りを禁じえない
- 35 川村「石田さん、ギターがほしいって言っていましたよね。わたしの弟が使っていたギターがあるんですが、よければどうですか。」
石田「いいんですか。」
川村「はい。弟に聞いたら、弾いてくれる方がいるなら、ぜひと言っていましたので、どうぞもらって()。」
- 1 やりませんか 2 やってください
3 いただきませんか 4 いただいてください。

(2012年7月 N1真題)

問題6 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

36 彼女は ★ 結婚したが、まもなく離婚してしまった。

- 1 周りの意見を 2 若気の 3 聞かずに 4 至りで

37 聞くということは、耳が聞こえて言葉がわかっていたら聞けるものではない。

★ 聞こえてくるのだ。

- 1 興味と知識が 2 音が言葉として
3 その話に 4 あってはじめて

38 犬がぼくを ★ 走ってきた。

- 1 飛びつかん 2 勢いで 3 見かけると 4 ばかりの

39 将棋は好きなら上達する。将棋が好きだということ ★
強くなれるのだ。 (2012年12月 N1真題)

- 1 すでに才能なのであって 2 あればこそ
3 自体が 4 好きだという気持ちが

40 バイトしていたときから、 ★ も同然だ。

- 1 決まった 2 気に入られ 3 就職は 4 部長に

問題7 次の文章を読んで、41 ~ 45 の中に入れる最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

二十一世紀は生命科学の時代といわれるが、一方では情報の時代ともいわれている。毎日のように、インターネットから情報を入手し、海外の人びととEメールで交信している。距離という制約を超えてコミュニケーションを可能とする情報テクノロジーは、社会構造を変えるほどの力をもっており、二十一世紀の社会のあらゆる面で不可欠な要素であることは 41 。

一方、どこに食糧があるかの情報は重要だが、 42 どんなに正確な情報が得られてもお腹は満たされない。どんなにハイテクの産物としての物、たとえばコンピューターがあっても飢えを救うことはできない。いくら科学技術が進んだ 43 、人間は鉄やガラスや紙を食べて 44 のだ。人間が食べているのは他でもない他の生物に由来したものである。情報だけではなく、生ものであっても加工したものであっても、ともかく食糧という物質がなくては、われわれは生きてはいけないのである。

環境問題の解決法として、よく、ゼロエミッションの話が聞かれる。ゼロエミッション

とは、産業の製造工程から出る廃棄物を、別の産業の再生原料として利用する「廃棄物ゼロ」の生産システムの構築を目指すことを意味する。地球サミットで「持続可能な発展」が採択されたのを受けて国連大学が提出した。

限られた資源であるから、物質のリサイクルはたいへん重要であるが、もうひとつの因子、エネルギーも考慮に入れなくてはならない。リサイクルに必要なエネルギーがあまりにも大きいものであれば、そのエネルギーを取り出すために、多くの資源を使う必要があるかもしれない、それがまた、45 かもしれないからだ。エネルギーの質の違いもわれわれは地球の将来を考えるときに認識しなくてははいけない。

41

- | | |
|------------|---------------|
| 1 議論してもいい | 2 議論はできない |
| 3 議論の余地はない | 4 議論しなくてはならない |

42

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1 すると | 2 しかし | 3 とにかく | 4 たとえ |
|-------|-------|--------|-------|

43

- | | |
|----------|---------|
| 1 からといって | 2 からには |
| 3 からして | 4 からすると |

44

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 生きていけるはずな | 2 生きていけなくもない |
| 3 生きていくしかない | 4 生きていくわけにはいかない |

45

- | | |
|-----------|------------|
| 1 環境を守る | 2 環境を悪化させる |
| 3 環境をよくする | 4 環境を救う |

問題8 次の(1)から(4)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

上野村の人々は、しばしば自然を人間と同じ感覚で表現する。たとえば秋に茸狩りに森に入る。ところがその場所に行ってみると、伐採後の切り株がならんでいた。そんなとき村の人は、「すっかり切られてしまって、森も悲しげだった。」と表現する。「森はさびしげだった。」と言うこともある。逆におだやかな陽ざしの下で、さわやかに風にゆれている森などに会おうと、「森も気持ちよさそうだね。」とか、「今日の森は楽しげだね。」とも言う。

このような言葉を聞いていると、自然が破壊されているとか、守られているという表現は、都市の人々のものだという気がしてくる。村民にとっては、自然は自分たちと同じ感覚の世界に存在していて、だからときに森は「悲しげ」な表情をし、「楽しげ」に早春を迎え、また怒ったような表情をするのである。

(内山節 「森にかよう道」による)

46 「そんなとき」とあるが、どういうときか。

- 1 村の人が自然と同じ感覚であるとき。
- 2 村の人が秋に茸狩りに森に入るとき。
- 3 村の人が森が悲しんでいると感じるとき。
- 4 村の人が森が伐採されたのを見たとき。

(2)

相手を思いやる気持ち、これも、「あいさつ」の心にちがいません。

先年、アフリカへ行ったとき、タンザニアで聞いたことですが、現地の人たちが道で知人とあいさつを交わすとき、おたがいに家族の安否をたずねますが、たとえ自分の家族に病人がいても、それを口に出さないのが暗黙のルールになっているのだそうです。相手の気持ちに負担をかけまいとする心からです。

(川崎洋 『ことばの力』による)

47 「暗黙のルールになっている」のはどんなことか。

- 1 安否をたずねる際には、ことばを口に出さないこと
- 2 あいさつを交わすときは、まず安否をたずねること
- 3 あいさつのとき、家族の病気のことは言わないこと
- 4 病気の人がいる家族とはあいさつを交わさないこと

(2012年7月真題)

(3)

新しい担任は、お決まりの挨拶を済ませた後、黒板に僕の名前を書いた。

氏家 透

途中でチョークが折れ、その片割れが教壇の上をむなしく、音を立てて転がる。氏家という名字で、馬鹿にされたことはしょっちゅうあった。うじ虫とか、ハエの子とか、恰好のいじめの的になることは間違いなかった。できれば山崎とか山田とか、どこにでもある目立たない名字であればなあ、と何度、転校するたびに真剣に悩んだことか。ここでもきっと、そう呼ばれるに違いない。僕は黒板に書かれた自分の呪われた名前を睨みつけて、小さく溜め息をついた。

担任は僕の名前を書き終わると、ヒカルを無視するように、僕を皆に紹介しはじめた。転校が多いこと、氏家という名前が由緒ある名前であること、前の学校での優秀な成績など、ひととおり説明が終わると、僕の背中を軽くたたき、自己紹介をしなさい、とうながした。

(辻仁成 『ピアノシモ』による)

48 「小さく溜め息をついた」とあるが、なぜか。

- 1 いつも名字で馬鹿にされたことにせつなく感じるから。
- 2 いつも名字で馬鹿にされたことに悲しく感じるから。
- 3 いつも名字で馬鹿にされたことに諦めているから。
- 4 いつも名字で馬鹿にされたことにいかりを感じているから。

(4)

私は八月の終わりにから九月の初めへかけての、夏の終わりのごく短い何日かが好きである。殊にその期間の海浜が好きである。

私は毎年、八月の下旬になってから海に出掛けることにしている。泳ぎの嫌いな私は、全くこの漸く秋の気の立ち始めた、大方の避暑客も引き上げて日一日とさびれて^(注)行く海浜を歩くのが好きだからである。

私が特にこの季節が好きなのは、私が、夏場だけ海水浴場で賑わう半島の漁村を故郷に持っていて、そこで生い育ったからである。実際この期間は部落の大人たちにも、子供たちにも、土地の人間としての一種異様な感慨が湧き起って来る時期である。やっとのことで、自分たちが自分たちのものを取り戻そうとしているといった気持ちである。部落の家々も、道路も、郵便局も、海岸も、船も、漸く自分たちの手に戻って来ようとしているという感慨である。

(井上靖の文章による)

(注) さびれる：にぎやかだった所が人気がなくなりさびしくなる。

49 「私は八月の終わりにから九月の初めへかけての、夏の終わりの極く短い何日かが好きである」とあるが、その理由はどれか。

- 1 私たち村人にとってこの時期は何か一種の異様なものに誘いこまれるから。
- 2 泳ぎの嫌いな私が、人目を気にせず海浜を歩くことがやっと出来るから。
- 3 私たちが八月から九月にかけての海浜のもののさびしい風景にやっと出会えるから。
- 4 私たちのものが、やっと私たちのところに戻って来ようとしているから。

問題9 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

人間が年をとり、老いるのも、また動物の老衰と多くの点で似ているかも知れない。だがしかし、われわれ人間にはそのほかにまだまったくちがうもう一つの可能性が与えられている。なるほど年をとることは子どものような年齢にかえていく姿なのは、まさしくほんとうのことだろう。しかし一方では、人間生活が、その祖先たちのゆたかな経験の宝庫や、祖先たちのつくった文化財をうけついでいくことにたよっていることをみると、この人間生活にとって、年をとったひとがどんなに重要なかがわかる。また高年齢が特にひとに威厳を与える事実もみのがせない。こうした点から、また前とはちがう老人の姿がほんとうの姿だとみとめられる。こうした二つの側面がほんとうにわれわれ人間の生命過程の特殊性である。いいかえると、そこには動物に近い子どもの年齢へかえていく段階から、多くのひとびとが老年になってからすばらしい創造力を発揮する段階までのあらゆる可能性をふくんでいる。年をとることは、ただ生命曲線がさがっていくことだとして、生命の花がしぼんでいくのだけを見て、その実がみのるのをみようとしないうえに、年齢が社会生活に義務づける新しいさまざまな問題をまちがって理解し、あやまって解決することになってしまう。社会の新しい課題を、ほんとうに将来の見とおしのうえに理解するための第一の前提は、人間の年齢、つまり老年の特殊性をはっきりつかむことである。

(アドルフ・ポルトマン 『人間はどこまで動物か』による)

50 「二つの側面」についての説明として、最も適切なものを次の中から選んでください。

- 1 人間の老衰は動物の老衰と似ているが、人間の保持する能力の偉大さを教えてくれる側面もある。
- 2 人間の老衰は人間の可能性という側面を持つと同時に生命的な輝きを示す側面も保持している。
- 3 人間の偉大さは動物の老衰と似て子どものようにもなるが威厳を与える存在感もある。
- 4 人間の偉大さはゆたかな生活を生み出す文化を創造する力と実らす力に認められる。

51 「老年の特殊性」とあるが、どういうことか。

- 1 子どものような年齢にかえていく姿
- 2 動物の老衰と多くの点で似ていること
- 3 老年ならではの創造力を発揮すること

4 年齢の義務付けなどが引き起こす問題

52 この文章で筆者が最も言いたいことはどれか。

- 1 人間が年をとることは動物の老衰と多くの点で似ている。
- 2 高年齢が社会にさまざまな新しい問題を引き起こす。
- 3 我々は祖先たちの経験や、文化財をうけつぐべきである。
- 4 人間は年をとるとあらゆる可能性をふくんでくる。

(2)

中国の遠い遠い昔のこと、両眼にそれぞれ二つの瞳、あわせて四つの瞳をもつ男、蒼頡、その蒼頡はまるで険しい目つきで、さきほどから、ただきょろきょろきょろきょろと、何かある一点を見つめてばかりいます。それだけでもうただならぬ気配です。その何かとは、じつは何の変哲もない^(注1)鳥と獣の足跡であったのです。しかしやがてそれらの足跡の模様ごとに微妙な異なりのあること、そしてそれには一定のきまりが貫かれていることを、その異形の眼は、しかととらえました。蒼頡は自ら察した、その自然の規律を応用して、漢字をつくったのである、と久しく中国では伝えられてきました。

そのとき、天は粟を降らし、鬼は泣き叫んだとも、『淮南子』^(注2)は語るのですが、どうにも信じがたいことです。鬼は私たちの想像する鬼ではありません。

たしかに未曾有^(注3)のことを語る怪異譚ではありますが、ただ、漢字の誕生があたかも天と地のきまりをひっくり返すような、畏るべき奇蹟として中国古代の人々に受けとめられたであろうことは、もう疑う余地がありません。漢字の初めにたいする、人々のとてつもなく大きな驚きと動揺とが、この不思議な伝説からうかがい知ることができそうです。もっともわずか一人の男の魔術めいた手品ごときで、漢字がひょいひょいとつまみだされたものなどとは、とうてい考えられることではありません。

(白川静監修・山本史也 『神さまがくれた漢字たち』による)(注1) 変哲もない：ありふれていてつまらない。

(注2) 『淮南子』：前漢代の思想書。淮南王劉安撰。

(注3) 未曾有：今までにないこと。非常にまれでめずらしいこと。

53 「ただならぬ」とあるが、どういう意味か。

- 1 特別に変わった点がない。
- 2 普通ではない。
- 3 何事もないこと。
- 4 ただし。

54 「未曾有のことを語る怪異譚ではありますが」とあるが、「怪異譚」とは何を指すか。

- 1 蒼頡のこと
- 2 漢字の誕生のこと
- 3 鬼のこと
- 4 『淮南子』のこと

55 この文章の内容とあっている説明は、どれか。

- 1 漢字は自然の規律にしたがって作り出されたものである。
- 2 『淮南子』は伝説だから漢字に関する記述も信じられない。
- 3 漢字の誕生は奇跡ではなく自然に発生したものである。
- 4 漢字は蒼頡という魔法ができる男が作り出されたものである。

(3)

私は自転車に乗れるようになるまでに、かなり苦勞をしたほうだと思う。友人や知人の話をきく限りでは、皆それほどたいした苦勞もなく乗れている人が多い。なんとなく乗ったら乗れたとか、いつのまにか乗れるようになっていたとか、私からみれば魔法か魔法でも使ったのかと言いたい話ばかりである。

私の場合はまさに血と汗と涙の特訓であった。一度目は、小学校二年の夏に友人の勧めで練習をすることになった。家族用の自転車しかなかったので、やむを得ずそれを使うことにしたが、子供の私には大きくて高い車体が恐かった。

友人は既に乗れるので「さあ、がんばっていこう。カンタンカンタン。」と(①)。初めはその言葉にのせられ、ああそうか、カンタンなのかと両足を地面から離したとたん転んだ。全然話が違うではないか。これのどこがカンタンなものか。少し考えればわかることだが、このふたつしかない車輪が地面に立つわけなのである。だから両足を地面から離したら転ぶに決まっている。冗談ではない、この友人は何てことを私にさせるのであろう。そんな思いが湧いてきた。私は友人に「乗れるわけないよ。コレ、転ぶに決まってるじゃん。両足離したらすぐ転ぶもん。」と文句を言う。しかし友人は「転ぶ前にこぐんだよ。そうすれば転ばないで進むんだから。ホントだよ。」と言う。

ホントかなァ…と疑いつつ、もう一回やってみる。ダメである。やはり転ぶ。転ぶ前にペダルに足をかけてそれを回すなどという余裕は全くない。

(さくらももこ 『あのこと』による)

56 「私からみれば魔法か魔法でも使ったのかと言いたい話ばかりである」とあるが、なぜか。

- 1 みんな何となく自転車に乗れたと言いながらそれぞれ苦勞したに決まっていると、疑っているから。
- 2 みんな自転車に初めて乗れた遠い過去の日を夢や魔法によって消し去ろうとしていることに、心苦しく思うから。
- 3 みんなほとんど苦勞せずに自転車に乗れるようになったなんて信じられないと、うらやんでいるから。
- 4 みんな自転車に簡単に乗れたことを何気なく自慢げに話すので、反感を抱い